

市町村名	粟国村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	環境美化促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3(2)-(エ)	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	村内を訪れる観光客の満足度の向上に向けて、観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施する						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,375	11,996	33,097	26,410	26,410
		(b) 予算現額	8,475	11,996	21,271	25,097	23,556
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,900	0	▲ 11,826	▲ 1,313	▲ 2,854
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	8,475	11,996	21,271	25,097	23,556
		B. 執行済額	7,266	10,747	20,156	18,649	20,342
		うち交付金充当額	5,813	8,598	16,124	14,918	16,273
		次年度繰越額	-	-	-	-	-
		執行率(%) (B/A)	85.7%	89.6%	94.8%	74.3%	86.4%
	予算の状況の説明	当初どおり観光地5箇所、アクセス道路13路線の清掃美化作業を実施したものの、退職者の発生に伴う人員不足や悪天候に伴う作業中止により、不要(3,214千円)が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線	目標	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	
		実績	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村内を訪れる観光客の満足度向上に向けて、観光地5箇所(大正池、ウーグ、東ヤマトウガー、ヤヒジャ、洞寺公園)及びアクセス道路13路線において美化・緑化活動を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	実績		94%	83%	81%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
		進捗状況説明	観光客へ本事業の美化・緑化活動についてアンケートしたところ、「観光スポットについて良かった」との回答が81%となり、目標を達成した。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(アンケート結果について) 過去に収集したアンケート内容をもとに観光客等が訪れる観光地を検証し、その動線も含め、美化・緑化活動地を選定し作業を実施した事が目標達成の要因と考えられる。	(アンケート結果について) アンケートの目標達成を継続・向上する仕組みを検討する必要がある。
	(作業員の確保) 作業員が最大人数(15人)に満たなかった時期があったため、年間を通して最大人数を確保する仕組みが必要である。	(作業員の確保) 村内への周知方法の強化を検討する必要がある。 また、出勤形態について別業務がある為、短時間作業を希望する声がある事から、契約内容について検討する必要がある。
	(不用額の縮減) 不用額があったため、縮減する必要がある。	(不用額の縮減) 不用額を縮減する方法を検討する。

今後の取り組み方針

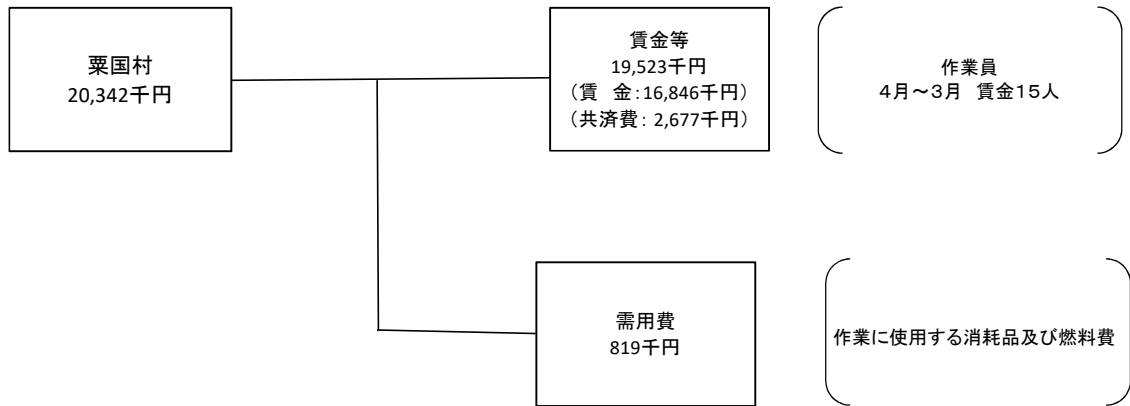
(アンケート結果について)
悪天候時の作業不可日等について過去の天気事例や気象庁の予報システムを有効活用し、悪天候時を予想し先に作業を行う等、観光地の美化作業を高い確率で実施する仕組みを作り、観光客の満足度の向上を図る。

(作業員の確保)
作業員の募集について、これまで単数実施であった「広報誌、村内放送、掲示板、声かけ等」を複数回にて実施し周知について強化する。
また、出勤形態について短時間でのアルバイト形式での契約が可能か検討する。

(不用額の縮減)
不用額の縮減は、当初にて予算の使用を計画し、随時予算執行状況を確認し対応する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費	
		交付金充当額	市町村負担金
20,342	20,342	16,273	4,069



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 支出先については、賃金職員を村規約に基づき採用したので妥当であった。 人員不足や悪天候の影響があり、不用率が約14%となった。 費用、用途について精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		粟国村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		粟国村「ア」のくにづくり推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
	担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26~28年度、平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容		イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。					
効果発現年度		<input checked="checked" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="checked" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	26,676	24,707		19,128	19,128
	(b) 予算現額	26,676	24,700		19,128	22,015	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 7		0	2,887	
	(d) 繰越額	—	—		0		
	A. 計(b+d)	26,676	24,700		19,128	22,015	
	B. 執行済額	25,233	24,700		18,885	22,015	
	うち交付金充当額	20,186	19,760		15,108	17,611	
	次年度繰越額	0	0		0		
	執行率(%) (B/A)	94.6%	100.0%		98.7%	100.0%	
予算の状況の説明		当初計画どおり執行を進めたところ、当初予算と予算現額で入札残により不用(2,887千円)が生じたが、交付変更により減額対応し、執行率は100%であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	イベント開催:1回(2日間)	目標	(粟国島「ア」の国まつり開催1回)	()	(イベント開催1回)	(イベント開催1回)	
		実績	粟国島「ア」の国まつり開催1回		イベント開催1回	イベント開催1回	
達成状況説明	目標	()	()	()	()		
	実績						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		()	()	(12人)	(30)	()	
	粟国島芸能:演舞者:30人(むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー)	実績			13人	37人	
	目標	()	()	(60人)	(126)	()	
	イベント来場観光客数:126人(2日間)	実績			66人	10人	
	進捗状況説明	(粟国島芸能演舞者について) 粟国島芸能(むんじゅる節、マースヤー、エイサー)の演舞者は30人目標に対し、37人であり目標を達成した。 (イベント来場観光客数について) イベントに来場した観光客数は126人目標に対し、10人となり目標を達成出来なかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(粟国島芸能演舞者について) 村広報誌及び村内放送や演舞者稽古場へのポスター設置等、告知を強化したことが目標達成の要因と考えられる。	(粟国島芸能演舞者について) 若い世代の演舞者が少なく芸能継承について検討する必要がある。
	(イベント来場観光客数について) 目標未達成の理由として、観光客が多く来島する繁忙期にイベント開催予定であったが台風9号・10号の影響で開催が延期となり、繁忙期外での開催が要因と考えられる。	(イベント来場観光客数について) 非常の事態に備えた工夫を検討する必要がある。
	(イベント満足度について) 例年のアンケート調査内容をイベントに反映し、イベント実施事業者と頻繁に打ち合わせを行い来場者の満足度向上に努めた結果、アンケート調査の満足度について、全体の9割から「良かった」という回答が得られ、「来年もまた行きたい」という意見も多く得られる事となった。	(イベント満足度について) アンケートによる満足度について高評価を維持する取組が必要である。
	(イベント開催時の観光客宿泊について) 開催が旧盆時期と重なる為、観光客が民宿等に予約できない状況が発生した。	(イベント開催時の観光客宿泊について) 観光客が民宿等に予約出来ない場合の宿泊施設について、検討する必要がある。

今後の取り組み方針

(粟国島芸能演舞者について) 村広報誌や図書館・公民館等に芸能演舞の魅力に記載したポスター等を配布・設置し、稽古への参加について勧奨する。
(イベント来場観光客数について) アンケート内容にイベント開催希望日を追加、希望日を複数月記載してもらい、効果的な代替日について情報を集める。
(イベント満足度について) アンケートの調査結果より、要望の多かったものを取り入れるよう対応する。
(イベント開催時の観光客宿泊について) 村所有の施設で宿泊ができるよう、担当課と協議する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
22,015	22,015	17,611	4,404	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行っている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途について事業目的達成の観点から、必要なものなのか等について額の確定において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村
------	-----

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	国際交流支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—5(4)—ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ—3—(1)

事業内容 海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

予算額・執行額【単位:千円】	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	1,805	2,906	2,906	2,847
(b)予算現額	1,805	2,906	2,906	2,857	1,713	
(c)増減額(b-a)	0	0	0	10	▲1,227	
(d)繰越額	—					
A. 計(b+d)	1,805	2,906	2,906	2,857	1,713	
B. 執行済額	1,508	2,695	2,825	2,857	1,713	
うち交付金充当額	1,340	2,156	2,260	2,285	1,370	
次年度繰越額	0	0	0	0	0	
執行率(%) (B/A)	83.5%	92.7%	97.2%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初5名派遣を計画していたが、実際3名の派遣となったため、1,227千円減額した。					

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
海外ホームステイ生徒派遣 5名	目標	(5名)	(5名)	(5名)	(3名)
	実績	5名	5名	5名	3名
報告書作成 20部	目標	()	(20部)	(20部)	(20部)
	実績		20部	20部	20部
達成状況説明	<p>・派遣予定者3名に対し4名の応募があり、4名のうち1名については英検4級保持者のため筆記試験を免除し、他3名については筆記試験を実施した。3名のうち1名については筆記試験で合格基準点を満たさなかったため、不合格となった。筆記試験免除者1名を含め3名に対し面接を実施し、7月下旬から8月中旬にかけてアメリカ合衆国ワシントン州ピュアラップへ派遣した。</p> <p>・帰国後、報告書の作成し、村内行事において成果発表を行った。</p>				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
			目標	()	()	(80%以上)
帰国後、以下の点に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。派遣対象生徒へホームステイ実施前後の意識調査を行い、授業等への取組姿勢などが向上したと答えた割合が80%以上	実績			100%	66.6%	
	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
派遣対象生徒保護者へのアンケートで、国際的な広い視野がより広まったと感じた割合が80%以上	実績			100%	100%	
	目標	()	()	(75%)	(75%)	()
・英語検定受検者の増加 平成30年度英検受検を生徒の75%が受検(平成29年12月現在 受検者19人 全生徒(27名)の70%が受検)	実績			70%	88.8%	
	目標	()	()	(75%)	(75%)	()

進捗状況説明

(「国際的な視野がより広まったと感じたか」について)
 帰国後、派遣された生徒(3名)の保護者へアンケートを実施したところ、「派遣された生徒の国際的視野が広がった」との回答が66.6%となり、目標は達成できなかった。
 生徒の国際的視野が広がった・・・とても思う 2名 どちらとも言えない 1名

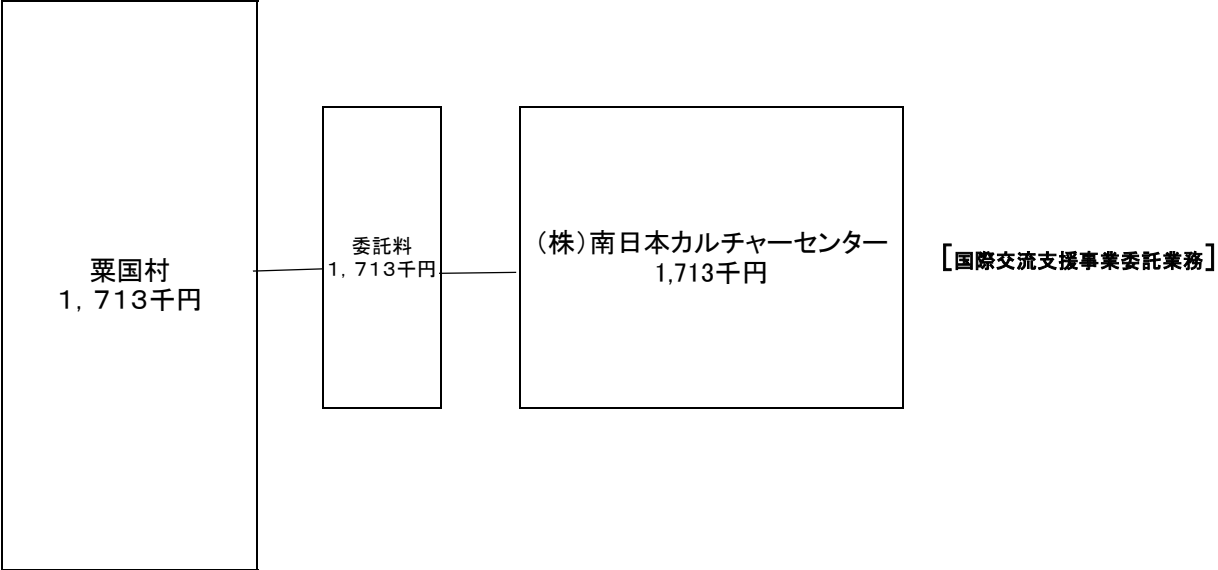
(「授業等への取組姿勢などが向上したか」について)
 生徒保護者へ聞き取りによるホームステイ実施前後の意識調査を行ったところ、「授業等への取組姿勢などが向上した」と回答した割合が100%となり、目標を達成した。

(英語検定受検受検者数の増加について)
 英語検定の受検者については、生徒数18人中16人の受検で、受検率は88.8%となり目標を達成した。

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(「国際的な視野がより広まったと感じたか」について) 派遣生徒は「国際的な視野がより広まった」と回答しているが、保護者の回答で未達成の要因としては、保護者が子どもに対する変化を肯定・否定もせず変化が感じられないことが未達成の要因と考える。	(「国際的な視野がより広まったと感じたか」について) 保護者が子どもに対し変化を感じられるような事業を実施を検討する。
	(「授業等への取組姿勢などが向上したか」について) 参加者は本村中学校の代表としてホームステイに参加することに意識を持つことで、派遣前後の授業等への取組姿勢が向上したと考える。	(「授業等への取組姿勢などが向上したか」について) 次年度も引き続き学校代表として参加することを意識付けし、授業等への取組姿勢の向上につなげたい。
	(英語検定受験受験者数の増加について) 参加者、前年度の参加者及び次年度参加希望者はさらなる英語力のスキル向上のために上級取得のため英語検定受験に挑戦した。	(英語検定受験受験者数の増加について) ホームステイへ参加を検討する生徒のみならず、村内中学生へ英語力向上のため英語検定の受験の奨励・周知を図る。
今後の取り組み方針		
<p>本村においては英検の受験料補助をおこなっているため、中学生に対しスキルアップのため、引き続き学校と連携を取りながら英語検定受験を奨励・周知を強化し、次年度以降もALTや英語担当教員を活用して、事前学習を実施するなどし、学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,713	1,713	1,370	343	



資金の 使途の 流れ・ 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、村規定に基づき採用し、妥当であった。 ○他の企画と比較しても内容と予算規模は適正である。 ○事前研修に必要な交通費等は参加者負担となっており、目的達成のためには妥当な負担関係である。 ○費用、使途については精算段階で検査しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村							
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	学力向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—5—(2)—ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		18,688	4,565	4,217	11,041	11,041	
			13,688	3,858	4,217	11,041	10,169	
			▲ 5,000	▲ 707	0	0	▲ 872	
			—					
			13,688	3,858	4,217	11,041	10,169	
		B. 執行済額	10,744	2,971	1,896	7,797	8,226	
		うち交付金充当額	8,595	2,377	1,516	6,237	6,580	
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)	78.5%	77.0%	45.0%	70.6%	80.9%	
	予算の状況の説明	不用額が発生しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校の臨時休校に伴い、塾についても中止となったため変更契約を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	平成31年4月～令和2年3月まで、月平均160コマの村営塾の実施		目標	()	()	(月平均160コマ)	(月平均160コマ)	
			実績			月平均68コマ	月平均101コマ	
	達成状況説明	未達成の主な理由として、悪天候のため講師が来島できなかったことや、新型コロナウイルス感染症防止・拡大防止に係る学校臨時休校に伴い予定通りに事業実施することができなかった。 塾の実施コマ数(実績)・・・1112コマ 内訳:小5・・・105コマ、小6・・・148コマ、中1・・・223コマ、中2・・・284コマ、中3・・・352コマ						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差		目標	()	()	小:5P以上 中:5P以上	小:平均以上 中:5P以上	()
	小学校:0ポイント以上 中学校:5ポイント以上		実績			小:+3.90P 中:+2.75P	小:+1.3P 中:-5.5P	
	進捗状況説明	沖縄県到達度調査の結果は小学校が県平均を上回ったが、中学校については下回った 小学校平均+1.3ポイント(県との差) (内訳:小5国語-5.7 小5算数+8.0 小5理科+2.3 小6算数+0.6) 中学校平均-5.5ポイント(県との差) (内訳:中1数学+0.7 中2国語-5.7 中2数学-3.9 中2英語-6.3 中2社会-12.3 中2理科-5.4) 受講者数27名中24名(88.9%)						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	主体的な学びの視点においては小学校・中学校共に県平均を下回っている。対話的な学びの視点においては小学校・中学校共に県平均とほぼ同じとなっている。	(小学校) 学校における授業と連動した家庭学習の習慣化と「質」の向上(自主学習の推進)を図る必要がある。 (中学校) 沖縄県到達度調査の結果、沖縄県との差が下回ったため(-5.5P)、わかる授業の実践や生徒の学習管理及び学力分析が必要である。 (小・中共通取組) 主体的・対話的で深い学びの視点に基づく学校における授業改善が必要と考える。

今後の取り組み方針

学校、保護者、教育委員会の連携を密にし、情報交換を行いながら本村にあった運営を行い、生徒の学力向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,226	8,226	6,580	1,646	



資金の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。 ○変更契約により、事業内容にあった規模に修正した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	児童・生徒派遣支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—5—(2)—ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,673	4,151	5,319	3,626	36,480
		(b) 予算現額	8,673	1,911	3,019	3,626	2,218
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 2,240	▲ 2,300	0	▲ 34,262
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	8,673	1,911	3,019	3,626	2,218
	B. 執行済額		1,048	1,756	2,228	2,343	2,012
	うち交付金充当額		838	1,405	1,783	1,874	1,609
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		12.1%	91.9%	73.8%	64.6%	90.7%
予算の状況の説明		悪天候によるフェリー欠航の為、派遣中止が発生して34,262千円の減額が生じたが、市町村間流用にて減額対応し執行率は90%を超え、適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	児童生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援		目標 (支援)	(支援)	(支援)	(支援)	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
達成状況説明		悪天候によるフェリー欠航で参加できない大会(小学校・1大会)があったものの、バドミントン大会、リコーダーコンテストなどといったスポーツ・文化教育活動に係る派遣実施ができた。 派遣実績 H29年度・・・195名 H30年度・・・165名 R1年度・・・156名					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	対象児童生徒保護者に対してアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。		目標 ()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		100%	97%	
	進捗状況説明		対象全児童生徒保護者に対し、アンケートを実施したところ『児童生徒の視野が広がったか』の問いに対し、「とても思う」、「どちらかというと思う」の回答が合わせて97%の回答となった。				

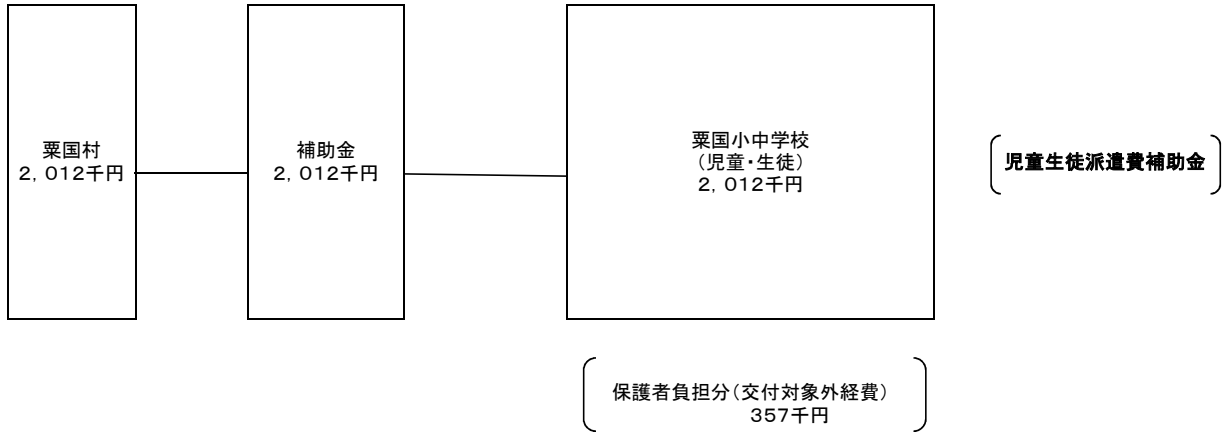
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(「児童生徒の視野が広がったか」について) 目標達成の理由としては、補助を行うことによって保護者の負担が軽減され、各種大会等への参加する機会が増えた分、児童生徒にとって様々な経験を積むことによって児童生徒個々に自信がつくことにより、児童生徒の視野が広がったと思われる。	(「児童生徒の視野が広がったか」について) 目標達成を継続する為、各種大会への参加機会を維持する必要がある。
	(大会への参加機会の確保について) 悪天候時のフェリー欠航により、派遣予定の大会に参加できない場合がある。	(大会への参加機会の確保について) フェリー欠航時の派遣方法や移動手段を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

(「児童生徒の視野が広がったか」について)
今後も継続して保護者の負担軽減のために補助を行い、児童生徒の各種大会等への参加機会を確保する。
(大会への参加機会の確保について)
フェリー欠航が予想される場合は事前に出発し、前泊・後泊対応が可能か学校および保護者と協議し、可能な限り島外で開催される大会等への参加機会が確保されるよう努める必要がある。また、前泊・後泊による授業時数の減少対応する為の放課後授業等の実施が可能かを併せて学校と協議する。
移動手段については、フェリーのみであり、ヘリタクシーや航空機での移動またはチャーター船での移動が可能かについて検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,370	2,012	1,609	404	357



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 費目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、粟国小中学校を通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、不用額は10%以内であり、概ね適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づいて保護者から一律の負担となっており妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、支給していることや派遣費の使途については精算時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。

市町村名	粟国村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	粟国村交通移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9-(1)	
事業内容	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,713	32,960	36,480	36,480	36,480
		(b) 予算現額	13,440	36,958	38,720	18,240	18,720
		(c) 増減額(b-a)	2,727	3,998	2,240	▲ 18,240	▲ 17,760
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	13,440	36,958	38,720	14,960	18,720
		B. 執行済額	13,440	36,160	38,720	14,960	18,480
		うち交付金充当額	10,752	28,928	30,976	11,968	14,784
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	97.8%	100.0%	100.0%	98.7%
予算の状況の説明	30日に30フライト制限や悪天候でのフライト不可の影響により利用実績が想定を下回ったため、予算を減額(17,760千円)した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	航空路線の運航日以外の島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援	目標	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	
		実績	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金支援	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	平成31年4月1日～令和2年3月18日の期間における計231フライト(利用者813人)に対するチャーターヘリ利用料金の支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			97%	97%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	【参考指標】 ヘリタクシーの利用者へアンケートしたところ、「運賃補助を行うことで、利便性が確保されている」との回答が97%となり目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(利便性の確保) アンケート集計の結果、ビジネス目的での利用が42.2%と最多になっており、特にビジネスでの来島者にとって利便性が確保されていると考えられる。</p> <p>(ヘリ利用率の向上) 30日間で30便と運航回数の制限があり、悪天候によるフェリー欠航時や旧盆等のピーク時には予約が殺到するため、チャーターヘリの利用希望者すべてに対応できない問題がある。</p>	<p>(利便性の確保) 村の成果目標としている利便性の確保(80%以上)を継続して達成できるよう、取組内容について検討する必要がある。</p> <p>(ヘリ利用率の向上) 30日間で30便と運航回数制限の設定がなされているが、制限解除について航空会社と協議する必要がある。</p>

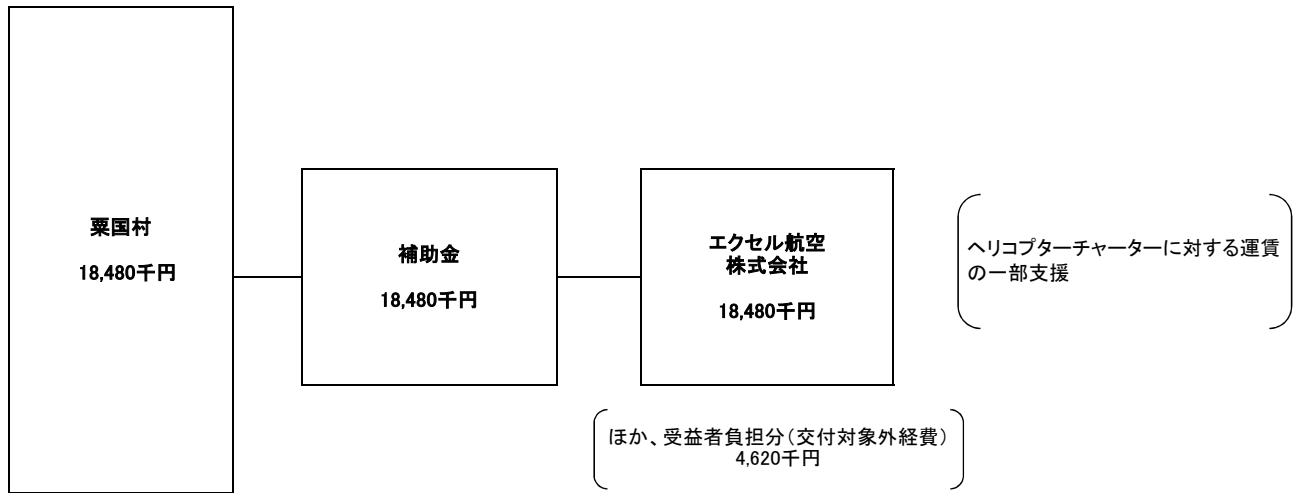
今後の取り組み方針

(利便性の確保)
利便性の確保(80%以上)を継続して達成できるよう、広報誌やホームページ等での周知を引き続き行う。

(ヘリ利用率の向上)
30日間で30便と運航回数制限の設定について、航空会社と協議を行った結果、6月下旬に制限解除に向けて調整する予定である旨、報告があった。解除が確定した際は村ホームページや広報誌・掲示板への掲載し、また、村内放送での周知を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
23,100	18,480	14,784	3,696	4,620



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、ヘリ運航事業者はエクセル航空株式会社のみが参入しているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、当初の想定を下回ったため減額し、不用が発生していないことから、事業内容に見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は1フライトにつき8割補助、2割受益者負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	粟国村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	粟国村地域防災計画整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成30年～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、粟国村来島者防災対策計画を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,036	10,092			
		(b) 予算現額	15,036	9,680			
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 412			
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	15,036	9,680			
	B. 執行済額		9,504	9,680			
	うち交付金充当額		7,603	7,744			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		63.2%	100.0%			
予算の状況の説明		当初計画どおり執行を進めたところ、当初予算と予算現額で入札残により不用(412千円)が生じたが、予算減額対応し、執行率は100%であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
				平成30年度	R1年度	R3年度	R4年度
	地域防災計画策定	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定				
	業務継続計画の作成	目標	(作成完了)	()	()	()	
		実績	作成完了				
	避難勧告マニュアルの作成	目標	(作成完了)	()	()	()	
		実績	作成完了				
	「粟国村地域防災計画(来島者編)」(仮称)の策定	目標		(策定)	()	()	
		実績		策定			
達成状況説明	災害時において観光客や来島者の安全を確保するため、平成30年度に改訂した「粟国村地域防災計画」を補完する「粟国村来島者防災対策計画」を策定するとともに、当該計画をより効果的なものとするため、防災関連マニュアルの作成を実施し、目標を達成した。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	平成30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R2年度)
	地域防災計画策定	目標	()	(策定)	()	()	()
実績				策定			
業務継続計画の作成	目標	()	(作成完了)	()	()	()	()
	実績			作成完了			
避難勧告マニュアルの作成	目標	()	(作成完了)	()	()	()	()
	実績			作成完了			
「栗国村地域防災計画(来島者編)」(仮称)の策定完了	目標	()	()	(策定)	()	()	()
	実績			策定			
【R2成果目標】 整備した地域防災計画、業務継続計画(来島者編)を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施するとともに、村民・関係者等へ周知することにより、計画・マニュアルについて検証する。	目標	()	()	()	()	()	(1回以上)
	実績						
進捗状況説明	災害時において観光客や来島者の安全を確保するため、平成30年度に改訂した「栗国村地域防災計画」を補完する「栗国村来島者防災対策計画」を策定するとともに、当該計画をより効果的なものとするため、防災関連マニュアルの作成を実施し、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(計画策定・マニュアル作成について) 観光協会事務局長を会議メンバーに入れる事により、観光協会の全面支援が受けられ、粟国村内の宿泊施設や観光スポット等の把握や、災害発生時の役割分担が構築できた事が完成の要因である。	(計画策定・マニュアル作成について) 年々変化する観光客等の来島者内容を把握し計画内容の見直しや追記事項等を検討する。
	(宿泊施設との連携強化について) 増加傾向にある観光客や島外業者等の来島者に対する災害発生時の対応を確認し、内容を強化する必要がある。	(宿泊施設との連携強化について) 宿泊施設業者等で組合等を設立し、災害時に来島者等対応内容について協議を行い、情報を共有する。
	(災害発生時の対応体制について) 災害発生時の来島者への対応について、災害発生時に混乱しないような体制作りが必要である。	(災害発生時の対応体制について) 観光客対応担当課や観光協会・宿泊施設等と来島者当への災害対応について協議し、対応イメージを共有する。

今後の取り組み方針

(計画策定・マニュアル作成について)
観光協会と連携し、計画内容の見直しや追記事項等を協議し、計画やマニュアルの改修や補強に努める。

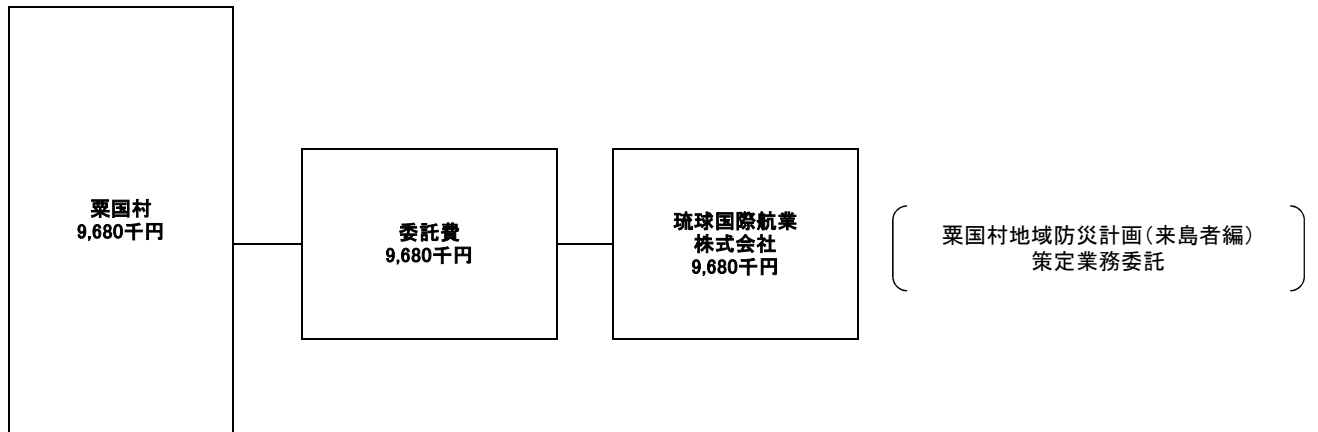
(宿泊施設との連携強化について)
観光協会の総会等で旅館組合等の設立を提案し、情報共有協議が行える場の設立に向け取り組む。

(災害発生時の対応体制について)
来島者を対象にした防災訓練を実施する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,680	9,680	7,744	1,936	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、減額対応し、執行率は100%であった。 ○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	